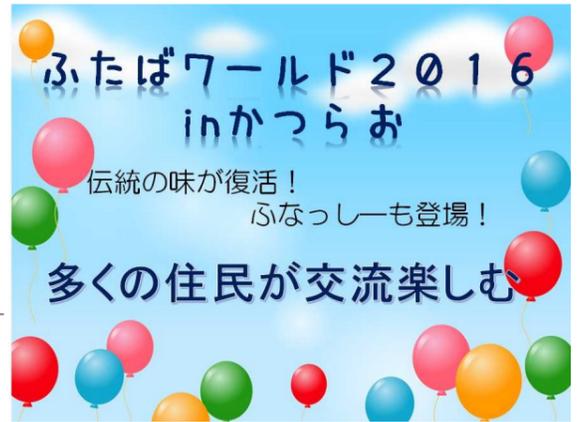




登場したふなっしーと葛尾村のしみちゃん ※



双葉地区の復興を指したイベント「ふたばワールド2016 inかつらお」が10月2日、葛尾村の村民グラウンドを会場に行われた。6



月の避難指示解除以来、初めての大規模イベントには大勢の人が集まり、双葉郡の味や郷土芸能をはじめ、人気のふなっしーや葛尾村イメージキャラクターのしみちゃんなどのゆるキャラ、歌手瀬川瑛子さんのステージ、元東京巨人軍の宮本和知さんによるストラックアウト、投球コントロールを競うゲーム)など、盛りだくさんの催しを楽しんだ。

会場には、郷土料理などの販売ブースが登場、人気を集めた。原発事故後に製造・販売休止を余儀なくされた、村のエゴマ(せうねん)100%を使用した名物として親しまれていた葛尾のお大尽様」がこの日限定で復活。また、人形劇「葛尾大尽物語」が6年ぶりに地元で披露されたほか、かつらおパーベキューも行われ、人たちは再開



懐かしい地元の味が人気を呼んだ ※



瀬川瑛子さん(左から2人目)ら登場したゲスト陣 ※

ふたばワールドは平成11年まで年1回、双葉8町村の住民が交流する場として、各町村の持ち回りで開催し、休止が続いていた。東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所の事故を経て、住民の再開・交流の場として、人と人、人と地域とつなぎ、復興を目指すそうと、平成25年に広野町での開催で復活し、これまでに川内村、楢葉町を会場に続いてきた。

初日の1日には、双葉地方における状況を共有する「帰還することの社会的側面について」をテーマにしたセッションが行われた。遠藤雄幸川内村村長や広野町、楢葉町、葛尾村の役員、井出茂川内村商工会長、川内村に常駐する長崎大の折田真紀子助教らが現在の状況や、それぞれの取り組みなどを発表。また、川内村民など、住民側の立場から、震災体験復興を指した地域活動などに



国内外から約100人が参加して行われたダイアログ

原発事故を受け、双葉地域の生活の回復に向けた経験と課題を共有することを目的にした「双葉地方におけるダイアログセミナー」が10月1、2の両日、川内村のいわなの郷体験交流館を会場に開かれた。同セミナーは、国際放射線防護委員会(ICRP)が昨年まで主催してきたが、今回からは協力する立場になり、代わって福島大、福島県立医大、長崎大の関係者が中心となって開催した。

2日目は、川内村の除染対策や廃棄物管理の現状などが説明されたほか、帰還することの条件、除染の状況、廃棄物の管理、環境モニタリングについて、双葉地方の未来に向けて、経験の共有と地域活動の継続的な支援」をテーマにしたセッションが行われた。

川内村で対話集会

双葉地方におけるダイアログセミナー

住民らが現在とこれからを語る

2日目は、川内村の除染対策や廃棄物管理の現状などが説明されたほか、帰還することの条件、除染の状況、廃棄物の管理、環境モニタリングについて、双葉地方の未来に向けて、経験の共有

と地域活動の継続的な支援」をテーマにしたセッションが行われた。

営農再開の歩み

VOL. 5

実り...
いよいよ稲刈り!



『のちのすーぷ』
で知られる料理研究家の辰巳芳子氏は、料理を通して、日本の美しさを感じ、語ってきた。その辰巳氏が、日本で最も美しい風景の1つに挙げるのが、実りの



コンバインを操作する佐藤さん



1粒1粒が貴重な実り

香りに、ほっとした。それは、順調に生育し

分日程を早めた。四條刈りのコンバインを、復興会代表の佐藤充男さんが操った。あつという間に刈り取られる。ある程度刈り取ると、籾（もみ）を軽トラダンプの荷台へと移す。このダンプは、再び活躍させようと、原発事故後も処分せず

に車検を受けていた。ノズルから出てきた籾を見て、目頭が熱くなった。佐藤さんたちの震災以降の苦労を聞いていたこともあり、この1粒1粒がさらに尊く思えた。子ども時代に祖父母や両親から繰り返し教えられた「米は農家さんが苦労して作ったんだから1粒も残すな」との言葉もよぎる。だから筆者は今も、ご飯だけは残すことができない。この1粒ができるまでの思いを考えれば、やはり無駄にできない。田刈り取ってすぐ、田圃近くのライスセンターで乾燥させ、いよいよJAへと届けられる。そこでは放射能検査が行われる。昨年までの実証栽培では問題はなかったが、数字を見なければ、胸はなでおろせない。本当に一息つけるのはいつの日か。改めて、農家の1年の長さを思う。

川内村で ワイン基礎講座

第1回かわうちワイン基礎講座 川内村商工会主催が8、9の両日、川内村内で行われた。

同講座は地域活性化、産業振興、まちづくりにつなげようと実施した。初日には、2020年のワイン出荷を目指してブドウを栽培する同村上川内大平地内の圃（ほ）場を見学。このあと、村内の集会所で、山梨大ワイン科学研究センターの佐藤充克客員教授からワインとブドウにまつわる知識を学ぶとともに、夜には懇親会で交流を深めた。



ワインの知識などを学んだセミナー



当新聞を発行する福島大学うつくしまふくしま未来支援センター相双地域支援サテライトのホームページがこのほど、リニューアル致しました！



お知らせ サテライトのHPが新しくなりました!!